

第49回 公害環境デー企画 VER.4

2020年11月27日

1. 開催に関する状況の判断について

- ・インフルエンザ流行、コロナ第3波などが考えられるが、ロックダウンなど最悪のケースで会場使用不可とならない限り、できるだけリモート方式や録画配信などを併用・活用してでも実施することを基本とします。

2. メインテーマとコンセプト

メインテーマ 公害環境運動を続けて50年 安心できる未来

- ①大阪から公害をなくす会の50周年の年に当たり、それを振り返り、活動の原点を確認
- ②コロナ禍で問われている公衆衛生、社会の在り方について
- ③地球の気候危機での「このままで次世代の人にとって地球の未来はない」との危機的な認識
これらを考え、学び、討論する場とする。

3. 全体構成と、特別講演、交流について

- ・2部構成として、リモート方式も併用。
- ・1部では、特別講演を2つ準備する。

特別講演1：宮本憲一氏（30分）「**地球環境の維持可能な社会を目指して―公害と闘って60年―**」

特別講演2 除本理史氏（60分）「**公害被害者救済の歴史からいま何を学ぶべきか**」

- ・2部では、公害被害者の訴えと、環境分野の交流

リモート方式も活用して、内容を充実させ、できるだけ多くの参加者が参加できるようにする。

4. 開催方法

- ・日時よ、2021年1月30日（土）午後1:30~16:00
- ・場所よ、大阪民医連の全会議室（人数制限 100名まで）（要員を除くと、約80名）
- ・会場参加者と、ZOOM参加の併用
- ・状況により、特別報告や、分野別報告は、リモート方式もあるものとする
- ・当日参加費 資料代500円、ZOOM参加者も同じとする。
- ・協賛金 できる限り広くお願いする。
- ・資料集を発行する：特別講演、公害被害者訴え、特別報告の他に、時間の関係で口頭での話まできないので、文書発言を、多くの環境分野に依頼する。